

日本でも、この一〇年、二〇年、表現教育、コミュニケーション教育ということが、やかましいほどに言われてきた。しかし、どうも私たち表現の専門家の側からすると、日本のこれまでの表現教育というものは、教師が子どもの首を絞めながら、「表現しろ、表現しろ！」と言っているようにしか見えない。そういう教員は、たいていが熱心な先生で、周囲も「なんか違うな」と思つていても口出しができない。

私は、そういう熱心な先生には、そつと後ろから近づいていつて肩を叩いて、「いや、まだ、その子は表現したいと思つていませんよ」と言つてあげたいといつも感じる。

この点が、現在の日本の表現教育が抱える一番の問題点ではないかと私は思つている。いまどきの子どもたちをどう捉えるかの、大事な観点がここにある。

問――線部〈現在の日本の表現教育が抱える一番の問題点〉とは何ですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 表現教育が社会から期待されすぎていること。
- イ 表現教育が本来の目的を見失っていること。
- ウ 表現教育が子どもの実態に合っていないこと。
- エ 表現教育が学校でしか重視されていないこと。